

伝統工芸品等のデザイン・商品化に関する研究

-県産材三次元曲面成加工に関する研究-

Study of the traditional crafts for creating new products which adopted design awareness

- Study on the technique of wood processing to form the theree-dimensional curved using regional specialty woods of Aomori - (Part 2)

濱田 圭・伊藤 健・小松 勇・鳴海 藍

昨年度製作した、スツールは、座面と脚部との接合部分に角度がついているため加工が複雑であり、組み立てる際も位置合わせが難しいという問題があることから、これらを改良した2次試作品を今年度製作した。また、商品化するためには強度に問題がないことを確認する必要があるため、JIS S 1203:1998 (ISO 7173:1989) 7.1 座面の強度試験 試験区分 3 に準拠した試験を実施し、合格した。

今年度は、二種（板膳、スマートフォンスタンド）の試作を行った。

板膳は、2次元曲面と3次元曲面の二種製作し、三次元木工技術研究会(h28.9.2)で検討した結果、2次元曲面のものについては2次試作を製作することとした。2次試作は2mm 4プライから2mm 3プライに変更し、藍染めの板を積層したもの、漆塗りのものを製作し三次元木工技術研究会(h29.1.11)で検討した。商品化に向けて研究会メンバーに型の提供と技術移転を行った。

漆塗りの仕様は、表すり漆仕上げ、裏木地溜塗仕上げ。



スマートフォンスタンドは、弘前研、研究会メンバーの作製したもの、市販のものを研究会で聞き比べた結果、研究会メンバーの作製したお椀型のものが音質が良好であった。研究会メンバーから材種、仕上げ方法や構造などについて提案があり、改良した物を製作することとした。

次年度は、板膳、スマートフォンスタンドとこれまでの試作品についてイベントなどでテスト販売を行い、価格や機能などについて消費者の反応を調査する。

